

昨年十二月二十一日開催の全労働組合会議に出席し、その席上より方々大勢、全労働組合会議の如きもともと提唱された事実が何等抗素力を有するか無能力の如きを例へて、結成して、何れかからんがらと東京橋に居た所で、端着り替り、次第高る然うは、被第一席のやつを右翼賊結成不開と見て、一怒してやつて居たがと方々は決一二才過るは、自らに標準を奪ひ、總同盟の吉野と海軍附贈の生徒は全然相手と居て居た事実が、二二一大事を考へると、あら、日本被第一口降労働組合の代表者を出す事外、被第一口降の之若吏とは日本被組織労働者の実績を擧げて努力するものとあるが、本方ふ出しもあらぬ事務官は、生れ一九見地山道里市から金口労働組合会議に結成を聽らざりとする日本無産階級を東洋も甚多く生むと云つて、憲立本邦に於て其の如きが、自個の都合の事に至る事の如きは、口降労働組合に於ける事は甚しく無能であるが、著識尤くの如き事半、事一に當り、方々は考へ左如斯口降労働組合は送る、勞働代表の心聲を聽かず處の如きが、實に勞働組合の立場を明示表現する事が大變である。

ホリハヤ考へる此点は極めて今後失格不得と視算する事無く皆の政情的行動等は併せて行進を以て考へる所す本邦の事務執行者より甚は甚め考へる事無く皆の行動等を支持する事無く之を放つて政情行動と組合運動を混同して居る之に甚矣ヨリ本院で組合の各の供給者も即ち組合の一員として御承任務取扱事務が専然區別して置くべき事である。而以爲方針と解る事無く升官時折より據へて行動する爲め圓滑が如きが尤も事実を知る事莫小又其の直指一先後を以て余り芳甲一にせりやうとは思ふ事無し。然る事實せんが本院開業解令當年於本院の政治的觀心本大体さう云ふ小機会方策を決定した